トモダチ・ユニット DVD 上映会

Soldiers Left Behind

悲しみの星条旗

2011年3月、東日本大震災と福島第1原発事故の救援活動である「トモダチ作戦」に参加した米軍兵士たちが被曝し、現在9名が死亡、多数の兵士が、国からの援助を受けられないまま、健康被害を訴えています。

そして、米国ではトモダチ作戦に参加した空母ロナルド・レーガンの元乗務員が、東京電力等に対して訴訟を起こして係争中です。

兵士たちの苦しみを証言する朗読劇『悲しみの星条旗』が、今年8月、京都と横須賀で上演され、多くの観客の感動と共感を呼びました。その舞台をつぶさにとらえたDVDが完成し、全国各地で上映会が開催されて草の根的な支援の輪が広がっています。

米軍兵士たちに起こったことは、私たち自身の問題でもあります。多くの方のご参加をお待ちしています。

脚本：くるみざわしん
演出：岩崎正裕

協力：光の領地・劇団太陽族
企画統括：エィミ・ツジモト

かながわ県民活動サポートセンター
301 会議室
横浜市神奈川区鶴屋町 2-24-2
横浜駅西口・徒歩 5 分

2019 年12月13日（金）
18:30 開演 （受付 18:00～）
上映協力費：1000円
（高校生以下無料）
主催：トモダチ・ユニット
共催：3.11 トモダチ兵士の被ばくを考える会
問合せ先：沢園昌夫（090-4835-6681）

被曝のため 28 歳でなくなった乗組員を偲んで気仙沼市大島の海岸に書かれたイニシャル。上左の海兵隊写真は大島住民提供、右は舞台稽古風景より